

原料トピック

マヌカハニーの可能性⑤

抗菌活性に加え新たに抗ウイルスを確認

口腔内、胃、腸における抗菌活性が確認されているマヌカハニーに、インフルエンザウイルスを含む抗ウイルス活性があることが明らかになってきた。

シクロケム

ウイルスに対しては、効果があるかは分かっていなかった。しかし最近になって数

新型インフルエンザにも対応か

種のB型試験において、抗ウイルス活性があることが明らかになってきており、マヌカハニーを供給するシクロケム(東京都中央区、350-147147)が解説した。研究成果の中には、現在世界的な流行

性を示唆する結果がB型試験で確認されている。04年に行われたハチミツを用いた試験では陰部ヘルペスに対する有効性を見出し、またB型試験においてヘルペスウイルスに対してハ

チミツに抗ウイルス活性があることが示された。同じくハチミツに関しては96年に風疹ウイルスに対して抗ウイルス活性が確認されている。

一方、マヌカハニーに関しては02年に単純ヘルペスウイルスに対する効果を示唆する比較検討し、マヌカハニーの10%水溶液で抗ウイルス活性を示すことが確認されて

MGOマヌカハニーとその関連物質の抗ウイルス活性が確認された研究報告のまとめ

物質	研究グループ (First Author)	論文発表年	ウイルス	試験タイプ
MGO	Tiffany	1957	ニューキャッスル病ウイルス インフルエンザウイルス	In vitro
MGO	Ghizatullina	1976	口蹄疫原因ウイルス (RNAウイルス)	In vitro
蜂蜜 (過酸化水素)	Zenina	1996	風疹ウイルス	In vitro
MGOマヌカハニー	French	2002	単純ヘルペスウイルス1型 (HSV-1)	In vitro
蜂蜜 (過酸化水素)	Al-Waili	2004	陰部感染ヘルペスウイルス	局所的療法
MGOマヌカハニー	Watson	2005	インフルエンザウイルスA (H1N1)	In vitro
MGOマヌカハニー	Waikato Univ	2009	アデノウイルス 単純ヘルペスウイルス	In vitro

ノウイルスと単純ヘルペスウイルスにおいてマヌカハニーの抗ウイルス作用がワイカト大学の修士論文で今年報告されている。MGOの試験でもニューキャッスル病ウイルス、インフルエンザウイルス、口蹄疫ウイルスへの効果が確認されている。

このことからシクロケムは「現時点での結論として、MGO、マヌカハニーはB型試験において抗ウイルス活性が示されています。ただ、In vitro試験はまだ行われていません。インフルエンザ感染治療や予防に効果が期待できるが現時点では十分に臨床試験での確認が必要で、今後はどういった部分も検討していきたい」と話す。